

# らうす産業活性化プラン

平成21年2月

らうす産業活性化協議会

# いきいき輝く「魚の城下町」をめざして

## - 町民みんなで取り組む産業の活性化 -

知床の豊かな海と山に囲まれた羅臼町は、漁業を基幹産業として発展してきましたが、スケトウダラをはじめとした漁業資源の減少、低迷する地域経済、少子高齢化の進行、人口の流出、さらには危機的な状況にある町財政など、当町を取り巻く環境は厳しさを増しており、地域の活力の低下が懸念されています。

さらに、平成18年3月に北海道開発局釧路開発建設部より報告されました「平成17年度管内漁港施設整備計画検証調査業務」において、当町の産業構造分析として、水揚げされた魚の多くが町外で処理されているなど地域の資源を有効に利用していないこと、町内での消費活動が弱く経済が地域内で循環しにくい構造となっていることなどの指摘がなされました。

こうした状況の中、平成20年4月にスタートした「羅臼町第6期総合計画」では、まちづくりの目標「人・まち・自然いきいき知床新時代～魚の城下町らうす～」を掲げ、「協働のまちづくり」を基本方針として目標実現に向け各種施策を示すとともに、特に地域医療の推進、漁業振興、海洋深層水事業、世界自然遺産事業、中学校改築事業を重点施策として取組を進めていくこととしています。

その取組の一つとして、基幹産業である漁業を中心とした地域産業の活性化・地域の活力の再生をめざし、平成20年4月に役場内組織として「医療再生・産業活性化推進本部 産業活性化プロジェクト」が設置されるとともに、全町が一体となって産業の活性化に取り組むための体制として「らうす産業活性化協議会」が設立されました。

当町の産業活性化を図るためには、行政ばかりではなく町民、企業、団体など様々な主体が連携して地域資源を最大限に生かした取組を進めていく必要があります。

こうしたことから、このたび、産業活性化に向けた方向性を全町で共有し、重点的・集中的に進める具体的な取組を示した「らうす産業活性化プラン」を策定しました。

今後は本プランに基づき、町民、企業、団体がそれぞれ担うことのできる役割をしっかりと認識するとともに、連携して地域の課題の解決に取り組むことにより産業の活性化を進め、いきいきと輝く「魚の城下町」を実現していきます。

最後に、本プランの策定に当たりご意見、ご提言をお寄せいただいた方々に対し、心から感謝申し上げます。

平成21年2月27日

らうす産業活性化協議会

## 目 次

はじめに	1
1 プラン策定の趣旨	1
2 プランの位置づけ	1
3 プラン期間	1
4 プランづくりの視点	2
5 プランの構成	2
6 プランの全体像	3
プランの基本理念	4
1 めざす姿	4
2 基本姿勢	5
産業活性化に向けた取組	6
1 地場水産物を核とした産業活性化の推進	6
2 海洋深層水の利活用による産業活性化の推進	11
3 世界自然遺産「知床」の利活用による産業活性化の推進	13
集中的な取組	16
プランの推進	26
1 プランの周知	26
2 プランの推進	26
3 プランの評価	27
<b>【付属資料】</b>	
産業活性化に向けた取組の体系	29
プラン策定までの経過	31
らうす産業活性化協議会設置要綱	32
らうす産業活性化協議会委員名簿	33

## はじめに

### 1 プラン策定の趣旨

知床の海と山に囲まれた羅臼町は漁業を基幹産業として発展してきましたが、スケトウダラをはじめとした漁業資源の減少、低迷する地域経済、少子高齢化の進行、人口の流出、さらには危機的な状況にある町財政など、当町を取り巻く環境は厳しさを増しています。

また、水揚げされた魚の多くが町外で処理されているなど地域の資源が有効に利用されていないことや町内における消費活動が弱く、経済が循環しにくい構造となっていることなどから地域の活力の低下が懸念されています。

その一方で、海洋深層水や世界自然遺産「知床」の自然環境を活用した動きがあるなど、地域の活性化に向けた様々な「芽」が出始めています。

こうした「芽」を大きく育て、当町の産業の活性化を図るとともに地域の活力の再生を進めるため、町民、企業、団体、行政など様々な主体が産業活性化に向けた方向性を共有し、スピード感を持ち、連携し一体となって重点的・集中的に取り組むべき方策を示す行動計画として策定するものです。

### 2 プランの位置づけ

平成20年4月にスタートした「羅臼町第6期総合計画」では、まちづくりの目標「人・まち・自然いきいき知床新時代～魚の城下町らうす～」を掲げ、「協働のまちづくり」を基本方針として、目標実現のための各種施策を示しています。

その中で、新しいまちづくりに向けた基本方向の一つとして、「世界自然遺産『知床』の自然と共生する活力ある産業のまちづくり」を掲げています。

本プランは、こうした方向性をより確実に、より効果的に実現するための具体的な取組を示すものとして位置づけています。

### 3 プラン期間

平成21年度から22年度までの2年とします。

その後は経済社会情勢などの変化に応じ、見直しなどの対応を進めます。

## 4 プランづくりの視点

本プランの策定においては、当町の強み、可能性を最大限に引き出す三つの視点を重視しました。

### 地域資源の活用

世界自然遺産「知床」の自然環境、水産資源など当町の持つ資源に着目し、これを他の地域にない「強み」として活用します。

### 「芽」を伸ばす

海洋深層水、体験観光への取組など「産業活性化の芽」を更に磨き上げ、大きく育てます。

### 様々な主体の連携

町民、企業、団体、行政など様々な主体がそれぞれ担うことのできる役割を認識するとともに、連携し一体となって地域課題の解決に取り組みます。

## 5 プランの構成

### < プランの基本理念 >

町内一体となり実現に取り組む当町の「めざす姿」と、その実現に向けて町民、企業、団体、行政など様々な主体が共有する「基本姿勢」を示しています。

### < 産業活性化に向けた取組 >

めざす姿の実現のため、「地場水産物を核とした産業活性化の推進」「海洋深層水の利活用による産業活性化の推進」「世界自然遺産『知床』の利活用による産業活性化の推進」を柱とした産業活性化に向けた取組を示しています。

なお、取組状況に応じて、集中的取組、継続的取組、中長期的取組の三つに分けて示しています。

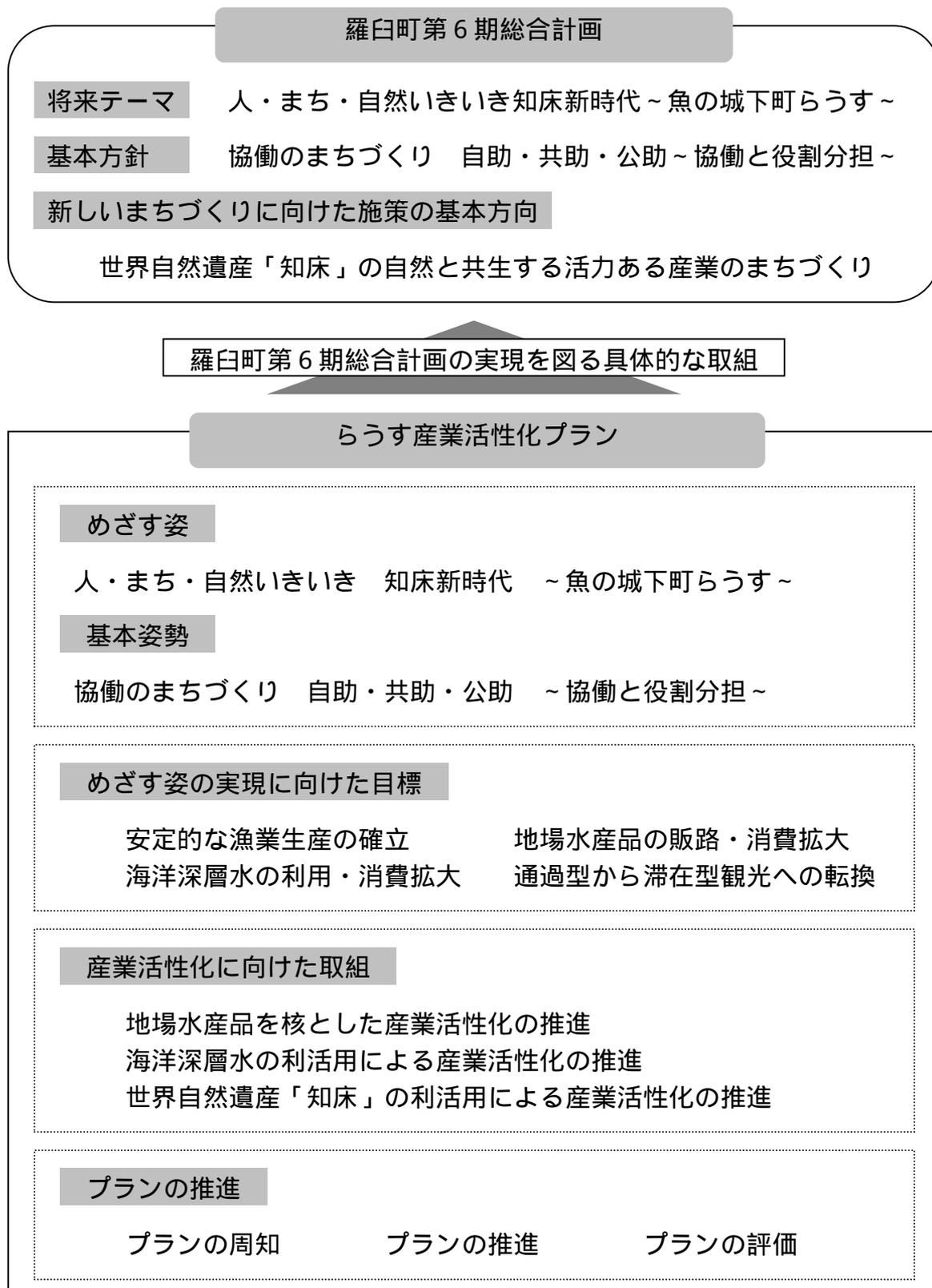
さらに、集中的取組については、年度ごとの具体的な取組内容と町民、団体、企業、行政などの役割分担を示しています。

集中的取組	プラン期間である平成21年度、22年度に集中的に取り組むもの
継続的取組	プラン期間にかかわらず継続的に取り組むもの
中長期的取組	影響、効果などを見極め、今後取り組んでいくもの

## < プランの推進 >

プラン推進の考え方や手立てを示しています。

## 6 プランの全体像



## プランの基本理念

本プランは羅臼町第6期総合計画の施策の方向性をより具体的に示すものであることから、総合計画に示す新しいまちづくりの目標及び基本方針を本プランのめざす姿及び基本姿勢とします。

### 1 めざす姿

人・まち・自然いきいき 知床新時代 ~魚の城下町らうす~

基幹産業である漁業を中心として、世界自然遺産「知床」の自然と共生しながら町民と様々な産業が活力に満ちた羅臼町をめざします。

#### <めざす姿の実現に向けた目標>

めざす姿の実現のため、四つの目標を掲げ産業活性化に向けた取組を進めます。

##### 安定的な漁業生産の確立

当町の基幹産業である漁業の振興が地域全体の活性化につながるものであることから、安定的な漁業生産の確立を進めます。

##### 地場水産品の販路・消費拡大

基幹産業である漁業を中心とした産業の振興が当町の産業全体の活性化につながるものであることから、地場水産品の販路の拡大と町内外における消費の拡大を進めます。

##### 海洋深層水の利用・消費拡大

知床らうすを代表する地域資源である海洋深層水を利用した産業の振興が当町の産業全体の活性化につながるものであることから、海洋深層水の利用の拡大と町内外における消費の拡大を進めます。

##### 通過型から滞在型観光への転換

世界自然遺産「知床」を有する当町において、自然環境を生かした観光関連産業の振興が地域全体の活性化につながるものであることから、経済波及効果を更に高めるため、観光入込客数の拡大を進めるばかりでなく通過型から滞在型の観光形態への転換を進めます。

## 2 基本姿勢

### 協働のまちづくり 自助・共助・公助 ～協働と役割分担～

当町を取り巻く環境がますます厳しさを増す中、これからのまちづくりにおいては、「あれも、これも」といったすべての地域ニーズへのサービス提供をめざすのではなく、「あれか、これか」といった選択と集中を基本としたサービス提供への転換が必要です。さらに、町民一人一人が担うことのできる役割をしっかりと認識して、自ら積極的に地域の抱える様々な問題を解決していく意識と行動が求められます。

こうしたことから、本プランは産業活性化に向けた取組を進める上において、町民、企業、団体、行政など様々な主体が地域の課題をしっかりと認識し、連携して解決に取り組む「協働のまちづくり」を基本姿勢とします。

## 産業活性化に向けた取組

地域の産業の活性化を図り、めざす姿の確実な実現のためには、町民、企業、団体、行政など様々な主体が連携、協力しながら取組を進めていくことが必要です。

ここでは、「地場水産物を核とした産業活性化の推進」「海洋深層水の利活用による産業活性化の推進」「世界自然遺産『知床』の利活用による産業活性化の推進」を柱とした産業活性化に向けた取組を示しています。

なお、取組状況に応じて、本プラン期間である平成21年度、22年度に集中的に取り組む「集中的取組」、本プラン期間にかかわらず継続的に取り組む「継続的取組」、影響、効果などを見極め今後取り組んでいく「中長期的取組」の三つに分けて具体的な取組を示しています。

### 1 地場水産物を核とした産業活性化の推進

#### <ねらい>

当町の基幹産業である漁業を核として、様々な主体の連携により漁業関連産業の振興を図り、地域産業の活性化を進めます。

#### つくり育てる漁業の推進

当町が面する根室海峡海域は、世界でも屈指の漁業資源の豊富な海域であり、多種多様な魚種が捕獲されていますが、近年、スケトウダラをはじめとした漁業資源の減少が懸念されています。

こうした中、漁業を核とした産業の活性化に取り組む前提として、安定的な漁業生産の確立が必要であることから、漁業資源の管理・保護を進めます。

#### 手立て

##### 漁業資源の管理・育てる漁業の確立

コンブ、ウニ、マガレイなどの種苗生産や放流など蓄養技術の向上を進めるとともに、スケトウダラの資源量調査など資源管理強化を図り、安定的な漁業生産の維持をめざします。

集中的取組	漁場海洋状況調査の実施
継続的取組	コンブ、ウニ、マガレイ、ナマコなどの種苗生産と放流拡大
中長期的取組	スケトウダラなどの資源量調査の実施

### 水産資源保護に向けた意識啓発の推進

限りある資源である漁業資源の重要性の認識を深め、安定的な漁業生産の維持をめざします。

集中的取組	町民、観光客に対する資源管理、環境保全啓発の推進
-------	--------------------------

## 消費の拡大

食の安全・安心に対する消費者意識の高まり、安全性や品質面における消費者ニーズの高まりなど、食を取り巻く環境が大きく変化しています。

こうした中、当町の基幹産業である漁業を中心とした産業の活性化のため、安全・安心な水産品の生産、新たな加工品の創出など「知床らうすブランド」の確立を図るとともに、町内外における販路・消費の拡大を進めます。

### 手立て

#### 水産品の衛生管理の高度化

衛生管理マニュアルや地域HACCP<sup>\*1</sup>の作成・検討を進めるとともに、衛生管理型漁港の構築を図ることにより、安全・安心な食の生産をめざします。

継続的取組	衛生管理マニュアルの作成
中長期的取組	地域HACCPの検討

\*1 HACCP(ハサップ): Hazard Analysis Critical Control Pointの略。製造における重要な工程を連続的に監視することによって、一つ一つの製品の安全性を保証しようとする食品衛生管理手法

### 地場水産品の高付加価値化

地場の水産品と海洋深層水などの地域資源を組み合わせた新たな加工品・製品の開発や雑海藻<sup>\*2</sup>などの未利用資源の有効利用の推進、また栽培漁業の積極的な展開により、地場水産品の付加価値の向上をめざします。

集中的取組	製品研究・開発の推進
継続的取組	様々な産業の連携・協力体制の構築 ウニ、ナマコ、マツカワなどの蓄養事業の展開
中長期的取組	加工場や冷蔵庫などの共同施設設置の検討、統一した加工品ブランド開発の検討

### 水産品購入機会の提供

漁港内での朝市・夕市の開催など、地域住民や観光客に対し地場水産品の購入機会を提供することにより、消費の拡大をめざします。

集中的取組	朝市・夕市の開催
継続的取組	物産直売所の充実 飲食店、宿泊施設における羅臼ならではの水産品、料理の提供と情報の発信
中長期的取組	羅臼ならではの食ツアーの開発、実施 はしご酒大会など飲食店イベントの実施

### 町外における販路拡大

首都圏、道央圏など消費地における販売活動や良質で安全・安心な食の提供をセールスポイントとした産地直送<sup>\*3</sup>による販売活動の展開などを進めることにより、販路の拡大をめざします。

集中的取組	アンテナショップ <sup>*4</sup> 、情報発信コーナーの設置・活動展開
継続的取組	インターネットを利用した販路拡大の促進 物産展など各種イベントへの積極的参加 百貨店、スーパーなどへのセールス活動の強化

\*2 雑海藻：主に大型褐藻類、紅藻類などのことを指す。生産及び食用の対象としていない海藻類の総称

\*3 産地直送：消費者が生産者と直接取引を行って生産物を手に入れること。また、大規模小売店などが流通の合理化のために産地と直接取引し仕入れること

\*4 アンテナショップ：試験的に新製品を売る店舗。消費者の反応を探るアンテナとしての役割を担っていることからいう

### 「知床らうす」ブランドの確立

地場加工に係る役割分担を明確にするとともに共同加工場の設置など連携を進めることにより、「魚の城下町らうす」「知床らうす」など町内で統一されたブランドの確立をめざします。

集中的取組	「魚の城下町らうす」「知床らうす」フレーズ、シンボルマークの積極的な利用
継続的取組	異業種間における情報交換の実施
中長期的取組	加工場や冷蔵庫などの共同施設設置の検討、統一した加工品ブランド開発の検討 「知床らうす」ブランド認証制度の検討

### 食育<sup>\*5</sup>の推進

小中学校給食における地場水産品の利用などにより、子どもたちの地元食材への理解を進めるとともに域内消費の拡大をめざします。

集中的取組	小中学校給食における地場水産品の利用拡大
継続的取組	子どもたちへの昔ながらの食、羅臼ならではの食の伝承

### 消費者ニーズ・動向の把握

多様化する消費者のニーズ・消費動向を的確に把握し、消費者が求める商品を市場に提供することにより、消費の拡大をめざします。

集中的取組	アンテナショップ、情報発信コーナーの設置、活動展開
継続的取組	イベント、物産展などにおけるアンケート調査
中長期的取組	インターネットなどを利用したモニター制度の実施

\*5 食育：食の安全性や栄養、食文化などの食物に関する知識と食を選択する力を養うことにより、健全な生活を実践することができる人を育てること

## 「魚の城下町」イメージアップ

当町は、地域の存立基盤ともいえる「魚」とともに生きるまちであることを誇りとして地域のイメージアップを行ってきました。

こうした中、「知床らうすブランド」の確立、水産品の消費・販売拡大などに資するため、「魚の城下町らうす」の情報発信を更に進めます。

### 手立て

#### 「魚の城下町らうす」情報発信の強化

情報発信拠点やインターネットの利用など様々な手段により、町内外に広く羅臼町の情報を発信し、「魚の城下町らうす」のイメージアップと「知床らうす」ブランドの確立をめざします。

集中的取組	「魚の城下町らうす」「知床らうす」フレーズ、シンボルマークの積極的な利用 アンテナショップ、情報発信コーナーの設置・活動展開
継続的取組	役場ホームページをはじめとした町内関連ホームページの充実 観光宣伝活動への積極的参加
中長期的取組	シンボルマークを利用したグッズの製作・販売 既存イベントの見直し・改善 団体・行政などの組織の垣根を越えた取組体制の構築に向けた検討

#### 羅臼漁港全天候型埠頭の利用

イベントの実施など羅臼漁港全天候型埠頭の有効利用を図ることにより、「魚の城下町らうす」のイメージアップをめざします。

集中的取組	羅臼漁港全天候型埠頭におけるイベント実施 漁港内での水揚げ・セリなどの見学を積極的に実施
中長期的取組	ウォーキングコースとしての利用など町民への開放

## 2 海洋深層水の利活用による産業活性化の推進

### <ねらい>

本格供給が始まった海洋深層水の様々な分野における利用や消費の拡大を図り、地域産業の活性化を進めます。

### 新たな利用の推進

平成11年より利用が始まった海洋深層水は、今後、その特性から様々な分野への利用の可能性が考えられています。

こうした中、海洋深層水の利用の拡大による関連産業の活性化のため、漁業をはじめとした様々な分野への利用、効果的な利用方法の研究など、海洋深層水の新たな利用を進めます。

### 手立て

#### 様々な分野への利用の拡大

食品加工への利用ばかりでなく、健康・美容分野など様々な分野への利用の検討を進め、利用の拡大をめざします。

集中的取組	健康づくり分野における利用の検討
継続的取組	鮮魚洗浄・輸送、蓄養、種苗育成など漁業分野における利用の拡大 水産物と海洋深層水を組み合わせた加工品の研究・開発 食品加工分野における利用の拡大
中長期的取組	化粧品など美容分野における利用の検討 農業分野における利用・効果の研究

#### 共同研究や企業誘致活動の推進

新たな利用方法や効果的な利用方法の検討を進めるための大学・試験研究機関による研究や企業誘致を進めることにより、利用の拡大をめざします。

継続的取組	大学・試験研究機関による調査研究の推進
中長期的取組	企業誘致、企業との共同利用の推進

## 消費の拡大

海洋深層水の利用を進めるため、海洋深層水関連の民間企業の設立や供給施設である知床らうす深層水給水施設の整備が行われてきました。

こうした中、利用しやすい供給体制の確立、効用・利用方法など様々な情報の発信を行うなど海洋深層水の更なる消費の拡大を進めます。

## 手立て

## 利用しやすい供給体制の確立

町民が気軽に利用できるような供給体制の確立を進めることにより、町内における利用の拡大をめざします。

集中的取組	販売促進活動の実施
継続的取組	販売価格の検討 輸送方法、販売方法の検討
中長期的取組	情報発信スペースとしての利用など、知床らうす深層水給水施設の有効利用の推進

## 情報発信の推進

町内外に対し海洋深層水の効用や価値についての情報提供を進めることにより、利用の拡大をめざします。

集中的取組	利活用事例や研究結果など情報提供の推進
-------	---------------------

## 販売活動の推進

町外における販売促進活動を進めることにより、利用の拡大をめざします。

集中的取組	アンテナショップ、情報発信コーナーの設置・活動展開
継続的取組	各種物産展への積極的参加 インターネットを利用した情報発信、販売活動の展開

### 3 世界自然遺産「知床」の利活用による産業活性化の推進

#### <ねらい>

世界自然遺産「知床」の世界に誇る豊かな自然の適正な利用を図り、地域産業の活性化を進めます。

#### 世界自然遺産「知床」の適正な利用

平成17年に世界自然遺産に登録された知床の豊かな自然環境を求め多くの観光客が当町を訪れましたが、通過型の観光形態であるのが実情です。

こうした中、体験型観光メニューの創出・実践など通過型から滞在型の観光形態への転換により地域産業の活性化を図るため、世界自然遺産「知床」の自然環境の適正な利用を進めます。

#### 手立て

##### 観光ガイドの育成

知床らうすの魅力をしっかりと伝えることができる知識、技能を持つガイドの育成を進めるとともに、何度でも訪れてみたい、いつまでも滞在したいと感じてもらえるような「おもてなしの心」を育てることにより、交流人口の拡大をめざします。

継続的取組	観光ガイドの育成 接遇サービス研修の実施
-------	-------------------------

##### 町内施設の有効利用

体験型、滞在型の観光メニューにおける利用など町内にある施設の有効利用を進めることにより、効果的な事業展開をめざします。

集中的取組	町内施設の利用の推進
継続的取組	羅臼ビジターセンター <sup>*6</sup> など情報発信施設の活用
中長期的取組	知床らうす深層水給水施設の活用

\*6 羅臼ビジターセンター：世界自然遺産「知床」、知床国立公園の情報発信を目的として、その自然、歴史、文化、利用に関する展示を行っている環境省設置の施設

### 体験型、滞在型観光メニューの創出

漁業資源や知床の自然など地域の資源を活用し、基幹産業である漁業を体験していただく産業体験観光、他に類を見ない野生生物の観察メニュー、また、訪れる方々が心身ともにいやされるような健康づくりメニューなど体験型・滞在型観光メニューの創出・充実を進めることにより、交流人口の拡大、地域経済への波及をめざします。

集中的取組	スケトウダラ、コンブなど漁業資源を利用した産業体験観光の充実 クジラ・イルカ・野鳥観察など知床の自然を利用した体験型・滞在型観光の推進 スノーシュー <sup>*7</sup> 、流氷など羅臼の冬ならではの資源を生かした体験型観光の推進 健康づくりに着目した観光メニューの検討 修学旅行の誘致
継続的取組	交通アクセス環境整備の推進
中長期的取組	クリーンボランティア <sup>*8</sup> など知床の自然保全に貢献するメニュー創出

### 情報の発信

世界自然遺産「知床」の豊かな自然環境を利用するばかりでなく、未来の世代に確実に引き継いでいく必要があります。

こうしたことから、自然環境を適切に利用するとともに守り引き継いでいくという自然とともに生きる意識づくりのため、当町の誇る豊かな自然環境の情報発信を進めます。

### 手立て

#### 町民周知の推進

知床の自然の魅力、重要性について町民への周知を進めることにより、世界自然遺産「知床」の持続的な利用をめざします。

\*7 スノーシュー：雪の上を歩くレジャー用の履物。かんじきのようなもの

\*8 クリーンボランティア：ボランティアで行う清掃活動

継続的取組	町民を対象とした研修会、勉強会、体験会の実施 ちらし、パンフレットなどの作成・配付 自然体験会の実施 環境、自然保全に関する環境教育・体験学習の推進 羅臼ビジターセンターなど情報発信施設の活用
-------	--

### 町外に向けた情報発信の推進

世界に誇る自然を有する知床の積極的な情報発信を進めることにより、自然環境の保全、交流人口の拡大をめざします。

集中的取組	アンテナショップ、情報発信コーナーの設置・活動展開
継続的取組	役場ホームページなどインターネットを利用した情報発信 物産展など様々な機会を利用した情報発信 羅臼ビジターセンターなど情報発信施設の活用

## 集中的な取組

地域産業の活性化を図り、活力ある地域の再生を進めていくためにも、スピード感を持ち、効果的・効率的に取組を進めていく必要があることから、本プランでは平成21年度、22年度を集中的に取組を進める期間としています。

ここでは、「産業活性化に向けた取組」において掲げた「集中的取組」について、年度ごとの具体的な取組内容と役割分担を示しています。

### 《地場水産物を核とした産業活性化の推進》

#### 漁場海洋状況調査の実施

<ねらい>

漁業資源の保全、増大による安定的な漁業生産の維持をめざし、漁業資源の減少にある現況の把握と原因説明を進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
21	海底状況調査の実施					
	調査結果分析					
22	海底状況調査の実施					
	調査結果分析					

#### 町民・観光客に対する資源管理、環境保全啓発の推進

<ねらい>

生産の場である海洋環境の保全と安定的な漁業生産の維持をめざし、町民・観光客に対する海洋資源の管理や環境保全についての啓発を進めます。

< 取組内容 >

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	町民を対象とした環境セミナーの開催					
	観光客などに対する街頭啓発の実施					
	河川清掃など海洋・自然環境の保全活動の展開					
2 2	町民を対象とした環境セミナーの開催					
	観光客などに対する街頭啓発の実施					
	河川清掃など海洋・自然環境の保全活動の展開					

製品研究・開発の推進

< ねらい >

地場水産品の高付加価値化及び消費の拡大を図るため、地域の資源や未利用の資源を活用した製品の研究・開発及び販路の確保・拡大を進めます。

< 取組内容 >

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	コンブ、サケなど漁業資源を利用した新たな加工品・製品の研究・開発					
	研究・開発・販路開拓に向けた支援制度などの助言					
	物産展・商談会への積極的な参加					
2 2	コンブ、サケなど漁業資源を利用した新たな加工品・製品の研究・開発					
	研究・開発・販路開拓に向けた支援制度などの助言					
	物産展・商談会への積極的な参加					

朝市・夕市の開催

<ねらい>

町内における地域食材の消費拡大を図るため、町民や観光客に対し水産品や地域ならではの料理・食材などの購入機会の提供を進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	朝市・夕市の開催					
	朝市・夕市における羅臼ならではの食・料理の提供					
	開催時間、場所など実施体制の検討・整備					
2 2	朝市・夕市の継続・拡充					
	朝市・夕市における羅臼ならではの食・料理の提供					
	町外への宣伝、情報発信					

アンテナショップ、情報発信コーナーの設置・活動展開

<ねらい>

消費者ニーズ、消費動向の的確な把握を図るため、町外において羅臼の水産品などを販売するアンテナショップ、観光情報などを提供する情報発信コーナーの設置と活動展開を進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	町外におけるアンテナショップ、情報発信コーナーの設置					
	水産品などの販売、観光情報などの発信					
	アンケート調査などによる情報収集の展開					
2 2	販売・情報発信活動の継続					
	アンケート調査などによる情報収集の継続					
	情報分析及び町内における分析内容などの提供					

「魚の城下町らうす」「知床らうす」フレーズ、シンボルマークの積極的な利用

<ねらい>

漁業を核としたまちづくりを進める羅臼町のイメージの定着と「知床らうす」ブランドの確立、周知を図るため、「魚の城下町らうす」「知床らうす」のフレーズ及びシンボルマークの利用を進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	水産品などの包装資材における使用					
	ちらし、パンフレットなど各種広報媒体における使用					
2 2	水産品などの包装資材における使用					
	ちらし、パンフレットなど各種広報媒体における使用					

小中学校給食における地場水産品の利用拡大

<ねらい>

羅臼の食の魅力の理解と未来を担う世代への伝承を図るとともに域内における地域食材の消費拡大を図るため、小中学校給食における地場水産品の利用を進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	給食における地場水産品の利用の拡大					
	児童・生徒に対する水産教室の実施					
2 2	給食における地場水産品の利用の拡大					
	児童・生徒に対する水産教室の実施					

羅臼漁港全天候型埠頭におけるイベント実施

<ねらい>

当町のイメージアップ、「知床らうすブランド」の確立、交流人口の拡大を図るため、「魚の城下町らうす」のシンボル施設ともいえる羅臼漁港全天候型埠頭をイベントなどに積極的に利用します。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	知床開き、漁火まつりなど既存イベントにおける利用推進					
	町民開放・観光資源としての利用についての検討					
	2 階部分の利用の検討					
2 2	イベント実施の定着					
	町民開放・観光資源としての利用の試行					
	2 階部分の利用の試行					

漁港内での水揚げ・セリなどの見学を積極的に実施

<ねらい>

安全・安心な羅臼産の水産品の情報発信、「知床らうすブランド」の確立を図るため、衛生管理型漁港としての特長を持つ全天候型埠頭における水揚げ・セリなどの町内外の方への公開を進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	見学会の実施					
	利用に係るルールの確立					
	ガイドの育成					
2 2	見学会の実施					
	ガイドの育成					
	町内外への宣伝活動の実施					

## 《海洋深層水の利活用による産業活性化の推進》

### 健康づくり分野における利用の検討

<ねらい>

海洋深層水の利用拡大を図るため、町内外から関心の高い健康づくり分野への利用を進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	利用に向けた可能性の検討					
	町民向け検討報告会の開催					
	健康づくりに着目した観光メニューの検討					
2 2	健康づくりに着目した観光メニューの試行					
	町内外に向けた情報発信					

### 販売促進活動の実施

<ねらい>

海洋深層水の利用拡大を図るため、町民や企業に対して利用を促すきっかけづくりを進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	無料お試しキャンペーンなど利用拡大に向けた活動の検討					
2 2	販売促進キャンペーンの実施					

利活用事例や研究結果など情報提供の推進

<ねらい>

海洋深層水の消費拡大を図るため、利活用事例や研究結果など海洋深層水の持つ可能性について町民などへの周知を進めます。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	利活用事例、研究結果報告会の開催					
	商談会、物産展への参加					
	情報発信用ちらし・パンフレットの作成					
	イベントなどにあわせた無料配布キャンペーンの実施					
2 2	商談会、物産展への参加					
	イベントなどにあわせた無料配布キャンペーンの実施					

《世界自然遺産「知床」の利活用による産業活性化の推進》

町内施設の多様な利用の推進

<ねらい>

効果的・効率的な事業展開を図るため、当町が有する資産である様々な施設を積極的に活用します。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	農林体験実習館、オートキャンプ場など施設の有効利用の検討					
2 2	施設有効利用の試行					

スケトウダラ、コンブなど漁業資源を利用した産業体験観光の充実

<ねらい>

通過型から滞在型観光への転換を進め、交流人口の拡大、地域経済への波及効果の拡大を図るため、水産業、観光業、商工業など様々な主体が連携して、水産資源、自然環境といった地域の資源を最大限に活用した新たな体験型観光メニューを創出、展開します。

<取組内容>

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	スケトウダラ、サケ漁体験プログラムの実施					
	コンブ体験の実施					
	コンブオーナー制の実施					
	町民ガイドの育成					
2 2	スケトウダラ、サケ漁体験プログラムの継続・メニューの充実					
	コンブ体験の継続					
	コンブオーナー制の継続					
	町民ガイドの育成					

クジラ・イルカ・野鳥観察など知床の自然を利用した体験型・滞在型観光の推進

<ねらい>

通過型から滞在型観光への転換を進め、交流人口の拡大、地域経済への波及効果の拡大を図るため、水産業、観光業、商工業など様々な主体が連携して、水産資源、自然環境といった地域の資源を最大限に活用した新たな体験型観光メニューを創出、展開します。

< 取組内容 >

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	サンライズ、サンセットクルーズ <sup>*9</sup> の実施					
	バードフェスティバル <sup>*10</sup> への参加による情報発信					
	メニューの売込み、情報発信					
	ガイドの育成					
2 2	サンライズ、サンセットクルーズの継続					
	バードフェスティバルへの参加による情報発信					
	メニューの売込み、情報発信					
	ガイドの育成					

スノーシュー、流氷など羅臼の冬ならではの資源を生かした体験型観光の推進

< ねらい >

通過型から滞在型観光への転換を進め、交流人口の拡大、地域経済への波及効果の拡大を図るため、水産業、観光業、商工業など様々な主体が連携して、厳しい冬の気象条件というハンディを逆に地域固有の強み・資源としてとらえ、それらを最大限に活用した新たな体験型観光メニューを創出、展開します。

< 取組内容 >

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	スノーシュー・サンライズクルーズの実施					
	メニューの売込み、情報発信					
	ガイドの育成					
2 2	スノーシュー・サンライズクルーズの実施					
	メニューの売込み、情報発信					
	ガイドの育成					

\*9 サンライズ、サンセットクルーズ：船舶を用いた朝日、夕日鑑賞

\*10 バードフェスティバル：「鳥」をテーマとした様々な展示、イベントが行われる「鳥のお祭り」  
2008年は千葉県において開催された

## 健康づくりに着目した観光メニューの検討

## &lt;ねらい&gt;

通過型から滞在型観光への転換を進め、交流人口の拡大、地域経済への波及効果の拡大を図るため、水産業、観光業、商工業など様々な主体が連携して、食、温泉、自然環境といった地域資源を最大限に活用し、健康づくりに着目した観光メニューを創出、展開します。

## &lt;取組内容&gt;

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	メニュー化の検討					
	モデルツアー、体験会の実施					
	講演会など町民に対する周知					
2 2	メニューの売込み、情報発信					
	講演会、シンポジウムの実施					

## 修学旅行の誘致

## &lt;ねらい&gt;

交流人口の拡大、地域経済への波及効果の拡大を図るとともに、次世代を担う子どもたちに羅臼町と世界自然遺産「知床」の魅力を広く伝え「羅臼ファン」を育てるため、水産業、観光業、商工業など様々な主体が連携して、水産資源、自然環境といった地域の資源を最大限に活用した修学旅行の誘致を進めます。

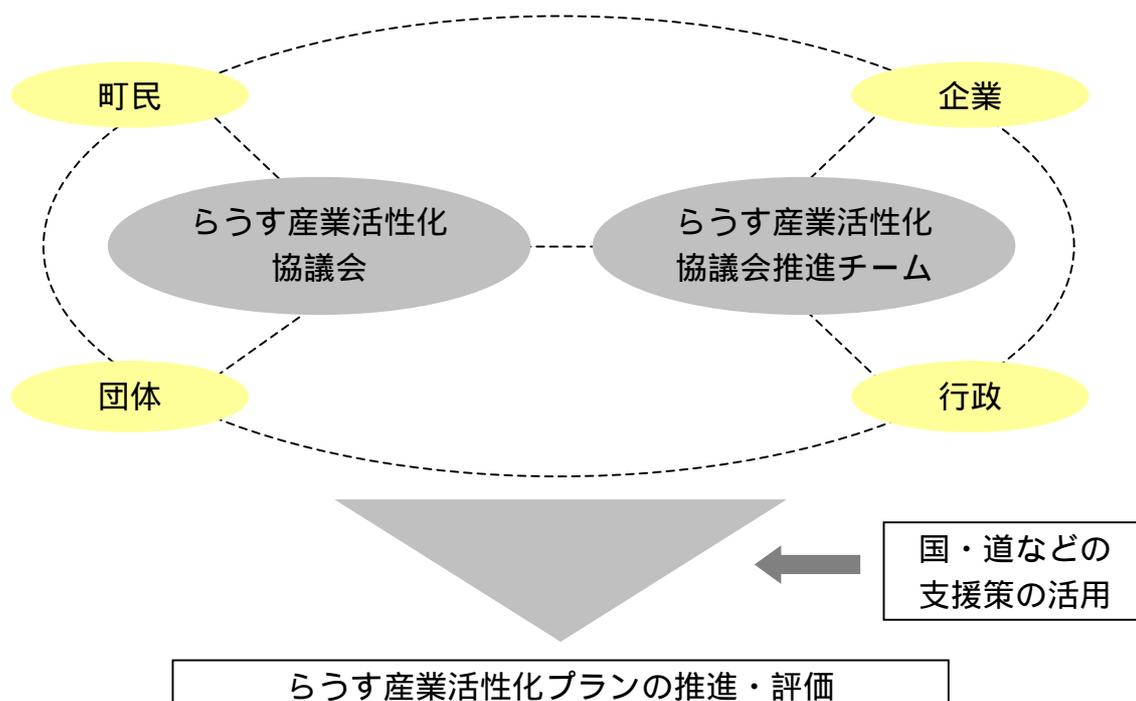
## &lt;取組内容&gt;

年度	取組内容	役割分担				
		町民	団体	企業	行政	その他
2 1	分宿 <sup>*11</sup> の試行					
	体験・学習メニューの検討					
2 2	分宿の試行					
	宣伝・情報発信活動の実施					

\* 1 1 分宿：何人かの一行が分かれて宿をとること

## プランの推進

このプランは、産業の活性化に向け、地域が一体となって重点的、集中的に取り組むべき方策を示すものであり、プランを着実に進めるためには、町民、企業、団体、行政など様々な主体による協働の取組が不可欠です。



### 1 プランの周知

プランの着実な推進を図るためには、町民、企業、団体などそれぞれがプランの理解を深めるとともに町内全体の意欲・意識の向上が必要となります。

こうしたことから、町広報誌やインターネットなど様々な手段・機会を通じてプランの内容や取組状況などの情報の公開を進めます。

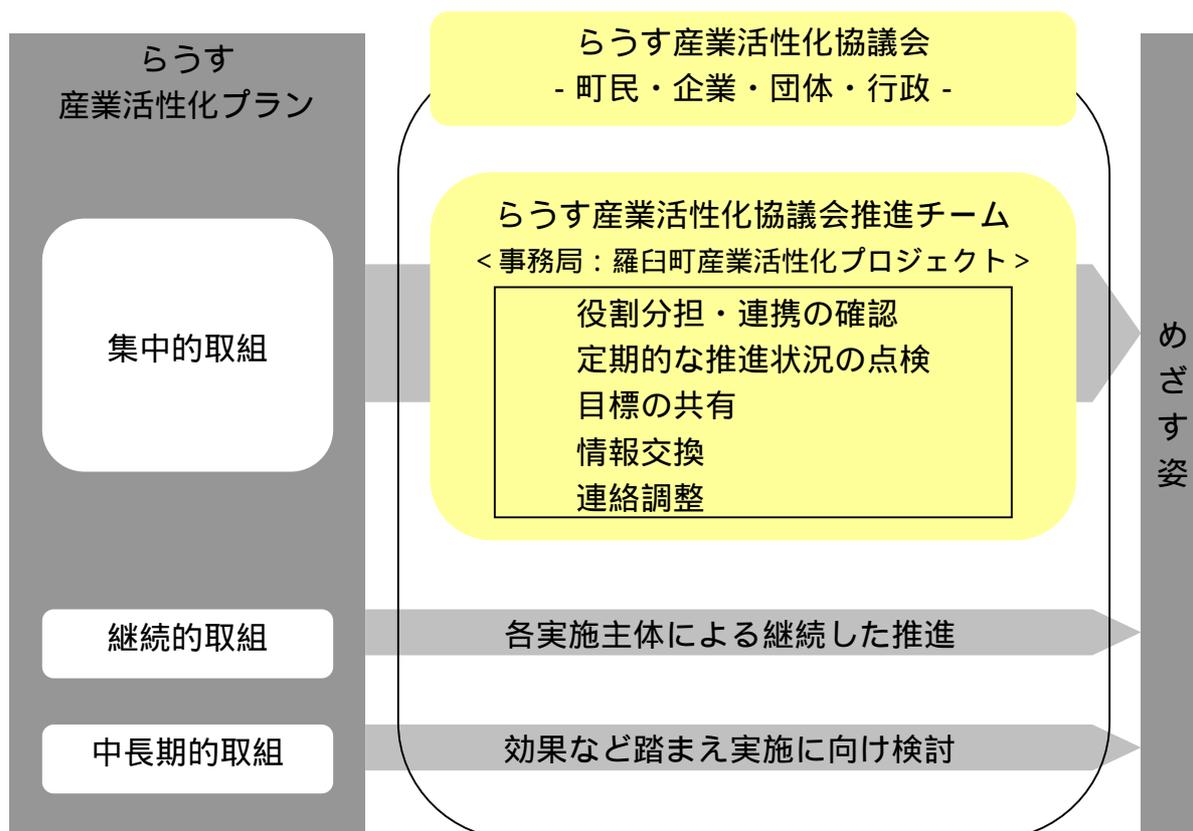
### 2 プランの推進

プランを効果的、効率的に推進するためには、関連する主体が密接に連携し取り組むことが必要であることから、「らうす産業活性化協議会」及び「らうす産業活性化協議会推進チーム」(事務局：羅臼町産業活性化プロジェクト)

が中心となり、定期的に推進状況の点検・調整を行いながら全町一体となったプランの展開を進めます。

また、産業活性化に向けた取組の展開に当たっては、国や道などの様々な支援制度を有効に利用しながら取組を進めます。

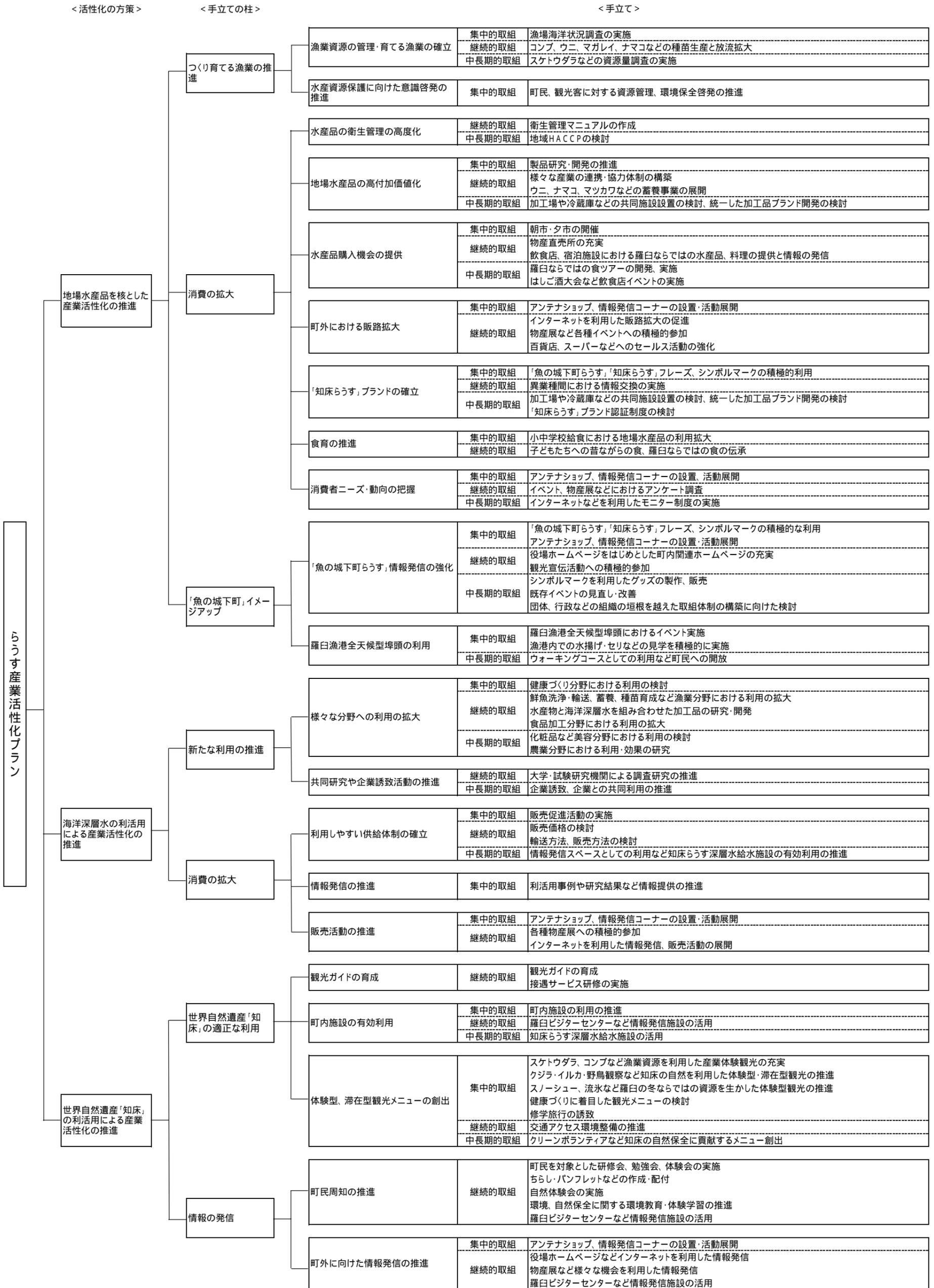
特に集中的取組の推進に当たっては、「らうす産業活性化協議会推進チーム」が中心となり、各主体の役割分担、連携状況の確認、定期的な推進状況の点検、目標の共有、情報交換、連絡調整などの機能を果たし、取組の確実な推進を図ります。



### 3 プランの評価

「らうす産業活性化協議会」及び「らうす産業活性化協議会推進チーム」が中心となり、定期的にプランの推進状況などの点検・評価を行うとともに経済社会情勢など当町を取り巻く環境も考慮しながらプランの見直しなどの対応を進めます。

付属資料



## プラン策定までの経過

町民、企業、団体、行政により構成される「らうす産業活性化協議会」及びその事務局部会である「らうす産業活性化協議会推進チーム」を設置し、らうす産業活性化プランの検討を行いました。

また、プランに様々な角度からの意見を反映させるため、協議会推進チーム委員との個別意見交換や羅臼町職員による意見交換をあわせて行いました。

### 1 らうす産業活性化協議会

区分	開催日時	議題
第1回	平成20年6月30日	羅臼町産業活性化に向けた考え方について 検討スケジュールについて
第2回	平成21年2月27日	らうす産業活性化プラン(案)について 平成21年度産業活性化プロジェクト事業 (案)について

### 2 らうす産業活性化協議会推進チーム

区分	開催日時	議題
第1回	平成20年6月30日	羅臼町産業活性化に向けた考え方について 検討スケジュールについて 羅臼町産業活性化に向けた方策について
第2回	平成20年8月26日	らうす産業活性化プラン(素案)について
第3回	平成20年12月9日	らうす産業活性化プラン(原案)について
第4回	平成21年2月26日	らうす産業活性化プラン(案)について 平成21年度産業活性化プロジェクト事業 (案)について

### 3 らうす産業活性化協議会推進チーム町内委員個別意見交換

実施期間	内容
平成20年10月8日～11月17日	産業活性化プランについて

### 4 産業活性化プロジェクトに係る庁内職員意見交換会

開催日時	議題
平成20年7月23日	羅臼町産業活性化に向けた取組について

## らうす産業活性化協議会設置要綱

### (目的及び設置)

第1条 産業界、地域住民及び行政が連携し地域産業の活性化を図る方策の検討及びその推進のため、らうす産業活性化協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 協議会の所掌事務は次のとおりとする。

- (1) らうす産業活性化プランの策定及び推進に関すること。
- (2) らうす産業活性化推進チームの審議事項を総合的に審議すること。
- (3) その他(1)の検討に必要なこと。

### (組織)

第3条 協議会は会長及び委員をもって組織する。

- 2 会長は羅臼町長をもって充てる。
- 3 会長は協議会を代表し会議を総理する。
- 4 会長に事故がある時は、あらかじめ指名する委員がその職務を代理する。
- 5 委員は、20名以内とし、次に掲げるもののうち町長が委嘱する。

- (1) 産業関係団体の役職員
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 地域住民

### (任期)

第4条 委員の任期は、らうす産業活性化プランの期間である、平成23年3月31日までとする。

### (事務局部会)

第5条 協議会に事務局部会を置く。

- (1) 事務局部会として、らうす産業活性化協議会推進チーム(以下「推進チーム」という。)を設置する。
- (2) 推進チームは、30名以内とし、らうす産業活性化プランに関する実践的活動を実施するための審議及び推進等を行う。
- (3) 推進チームの委員は、協議会委員が所属する団体の職員を各所属委員が指名した者で構成する。

### (運営)

第6条 協議会及び推進チームの会議は会長が招集する。

- 2 協議会及び推進チームは、委員の2分の1以上が出席しなければ会議を開くことができない。ただし、委員に事故等があったとき、または不在のときは、あらかじめ委員の指名する者が代理出席できるものとする。

### (庶務)

第7条 協議会及び推進チームの庶務は医療再生・産業活性化推進本部産業活性化プロジェクトが処理する。

### (その他)

第8条 これに定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、平成20年6月11日から施行する。

らうす産業活性化協議会委員名簿

(任期 平成20年6月11日～平成23年3月31日)

所属	職名	氏名
羅臼漁業協同組合	代表理事組合長	田中 勝博
羅臼町商工会	会長	阿部 満晴
羅臼鮮魚買受人組合	組合長	市岡 俊一
羅臼町水産加工振興協会	会長	吉田 久一
羅臼建設業協会	会長	鈴木 八之助
羅臼商業協同組合	組合長	濱屋 義昭
羅臼飲食業連合会	代表理事	高橋 一行
知床羅臼町観光協会	会長	辻中 義一
羅臼町旅館組合	組合長	本間 正子
根釧トラック協会羅臼支部	支部長	稲川 正春
大地みらい信用金庫羅臼支店	支店長	成田 英治
釧路信用組合羅臼支店	支店長	堀 充利
連合町内会	会長	阿部 忠征
知床らうす深層水利活用協議会	会長	湊屋 稔
釧路開発建設部根室港湾事務所	事業専門官	岡島 大二
根室支庁地域振興部地域政策課	課長	福田 正智
羅臼町	町長	脇 紀美夫

(敬称略)



## らうす産業活性化プラン

平成21年2月発行

<編集・発行>

らうす産業活性化協議会

<事務局>

羅臼町 医療再生・産業活性化推進本部  
産業活性化プロジェクト

電話 0153-87-2111 (水産商工観光課)